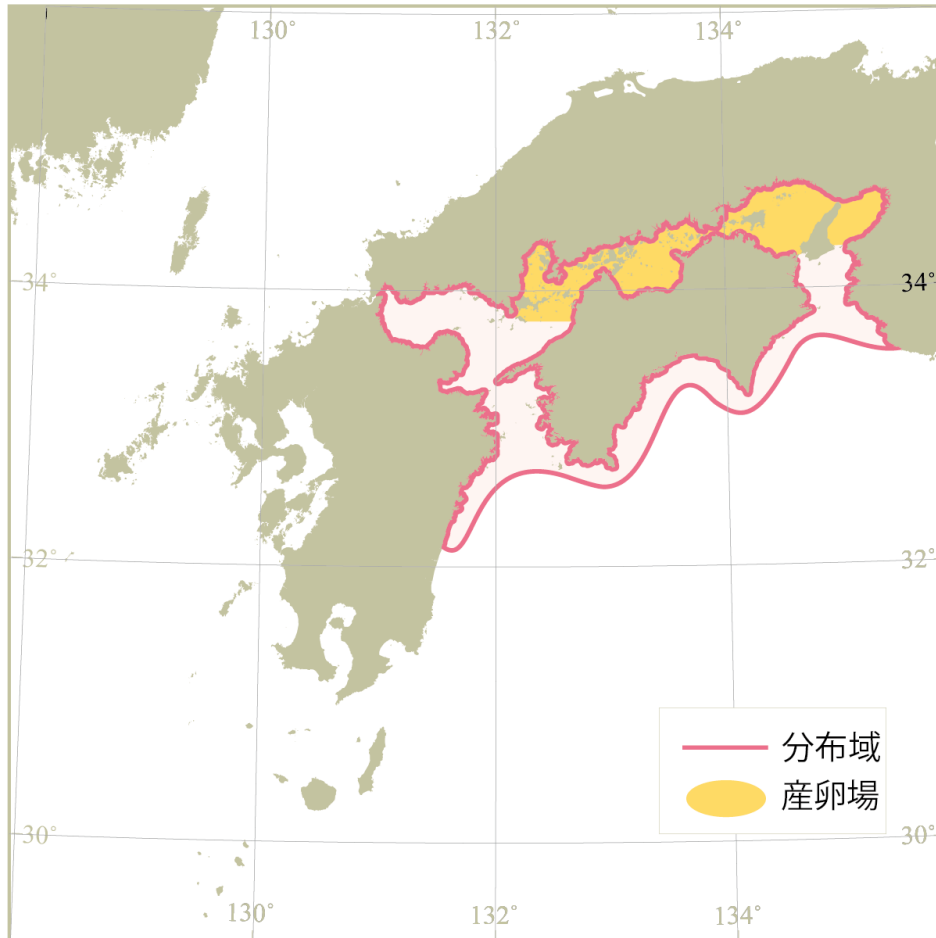




サワラ瀬戸内海系群 令和4年度資源評価結果

生物学的特性

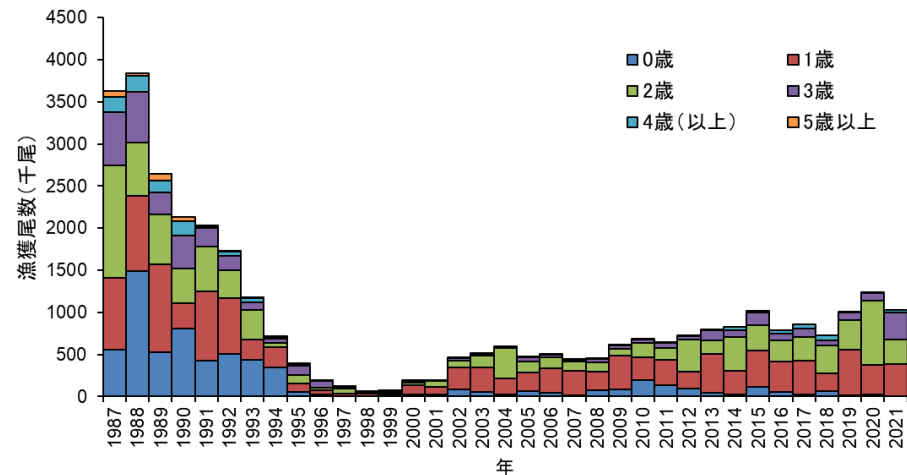
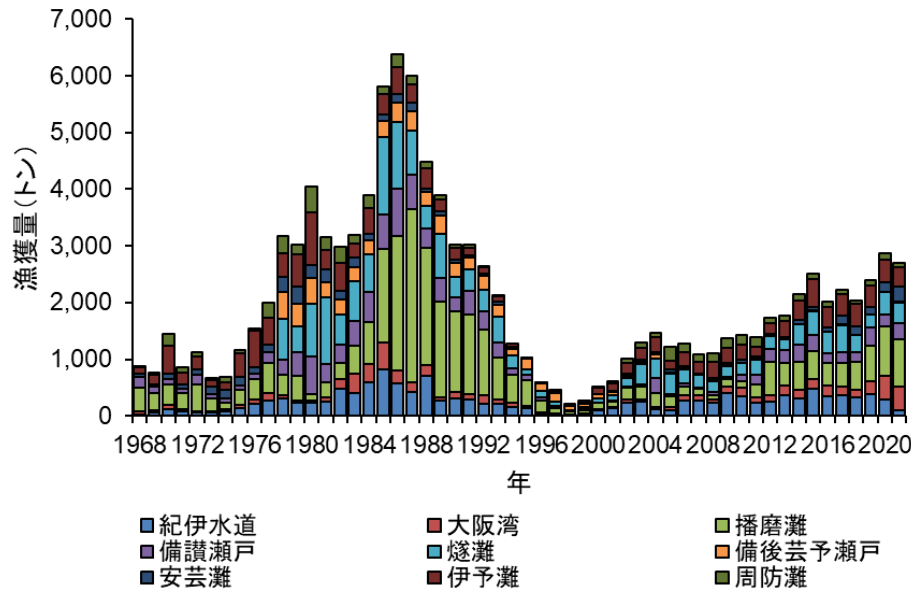


生物学的特性

- 寿命: 6~8歳(雌が長寿)
- 成熟開始年齢: 1歳(50%)
- 産卵期・産卵場: 5~6月
播磨灘、備讃瀬戸、燧灘、
安芸灘
- 食性:
稚魚はカタクチイワシ等の稚魚
成魚はカタクチイワシ、イカナゴ
等の魚類
- 捕食者: 不明

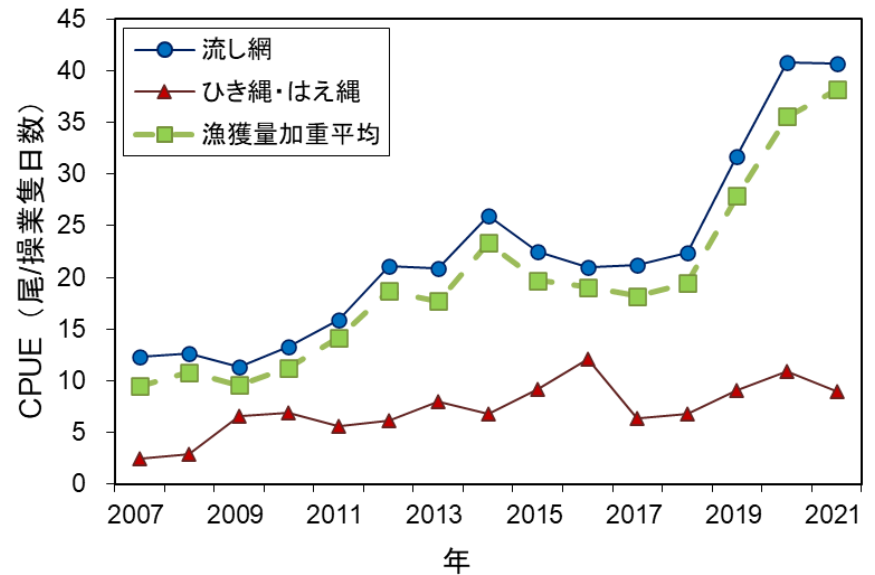
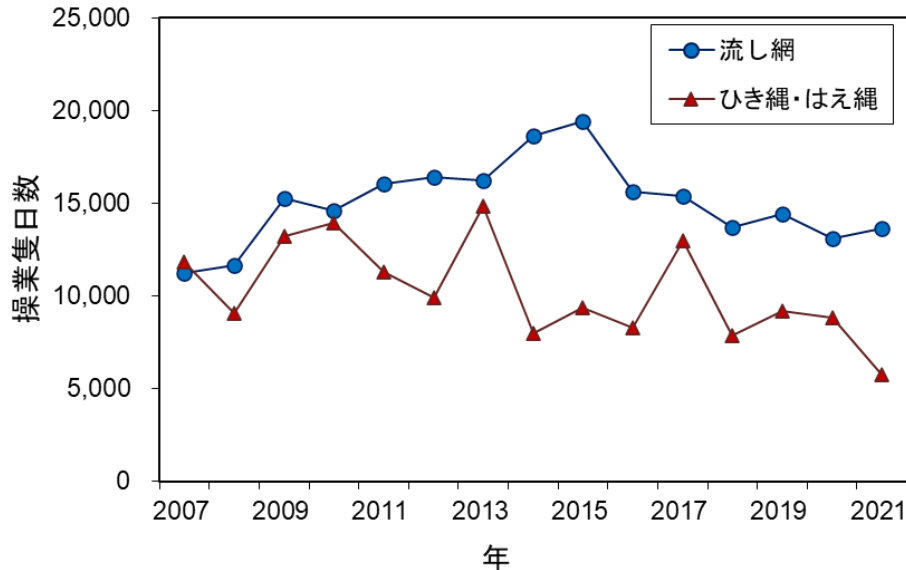
- 春季に瀬戸内海中央部へ来遊する1歳以上を、秋季に紀伊水道と豊後水道に移動する0歳以上を漁獲する

漁獲の動向①



- 2021年の漁獲量：2,702トン（2020年：2,875トン）
- 2000年以降の漁獲主体は1、2歳魚
- 0歳の漁獲尾数は1995年以降に低い水準で推移
- 2021年の0歳魚の漁獲尾数は2千尾を下回り過去最低値

漁獲の動向②



- 操業隻日数は流し網で2016年以降、ひき縄・はえ縄で2007年以降、減少傾向
- 流し網のCPUEは2007年から上昇傾向で、2018～2020年に著しく上昇。ひき縄・はえ縄CPUEは2007年以降、上昇傾向
- 両CPUEの漁獲量加重平均値を資源量指標値として使用

※操業隻日数：サワラを対象とした1隻ごとの操業日数を隻数で合算

※CPUE：操業隻日数当たりの漁獲尾数

資源評価の流れ

2021年までの年別年齢別漁獲尾数
2021年までの資源量指標値

← チューニングVPA

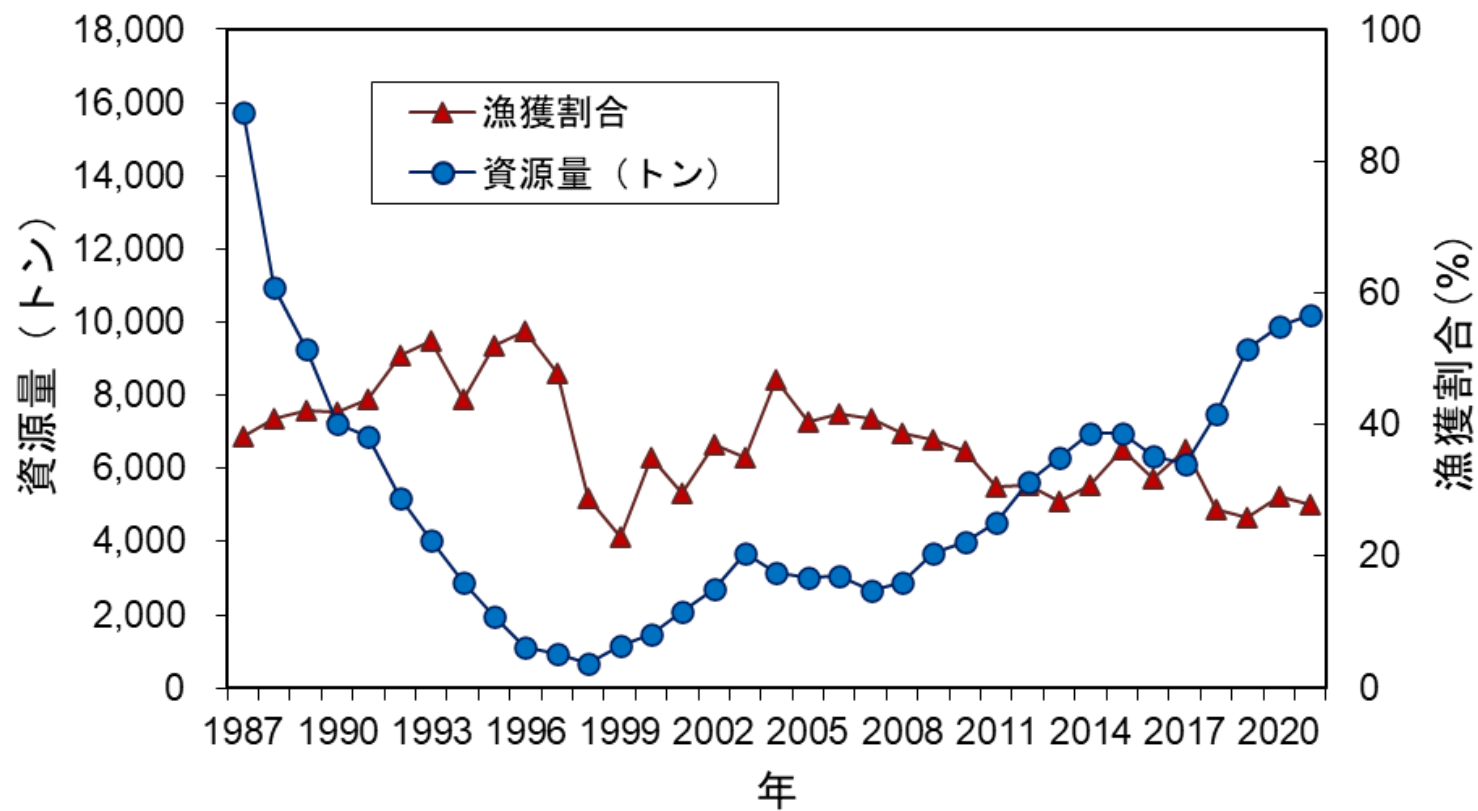
自然死亡係数 : 0歳 = 0.1、1歳以上 = 0.3を仮定

2021年までの年別年齢別資源尾数
2021年までの年別年齢別漁獲係数
2021年までの年別年齢別資源量

※2021年の0歳魚の資源尾数と資源量は、2021年の親魚量に1987～2020年の再生産成功率の中央値を乗じて求めた

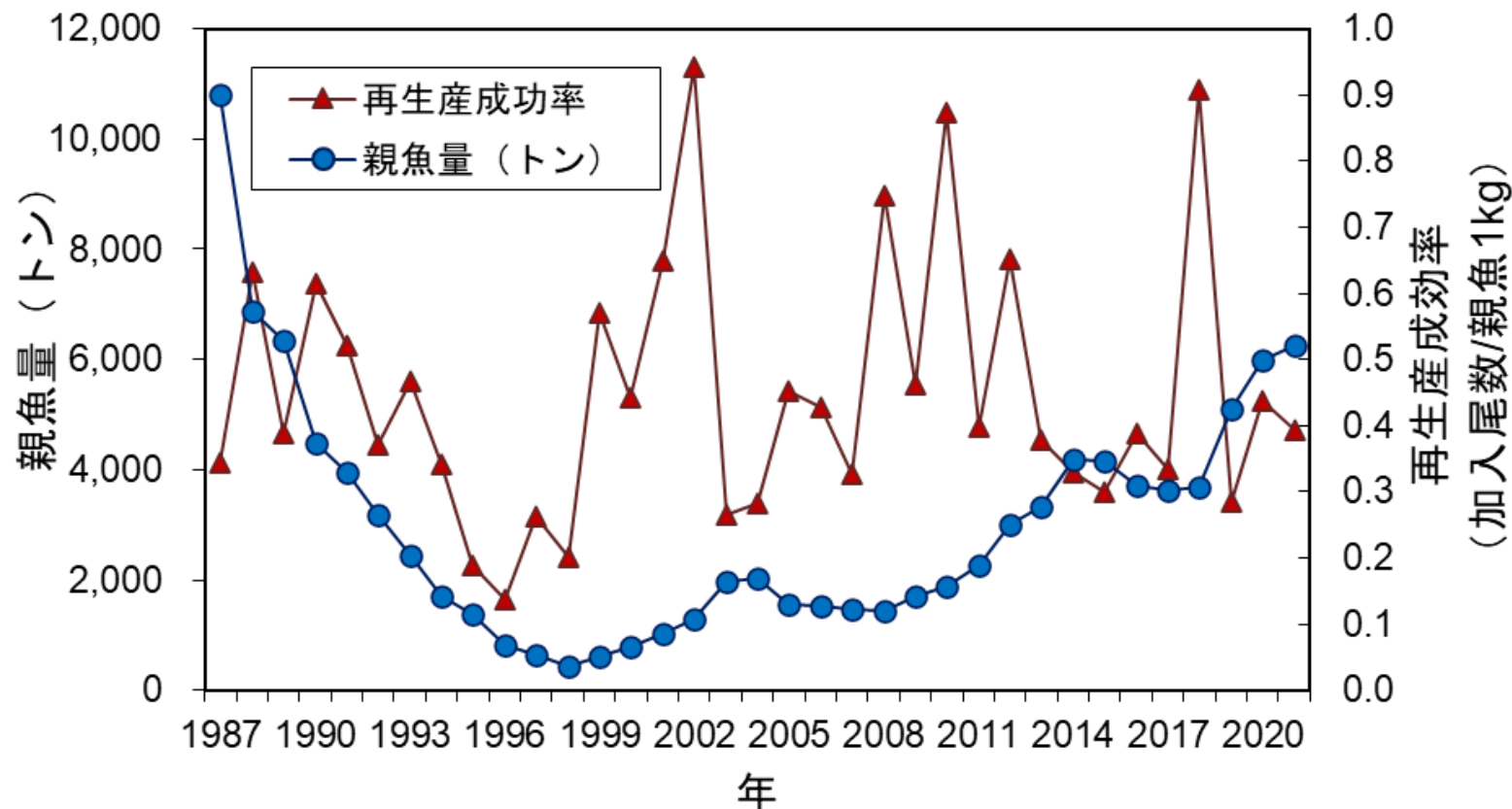
※2021年の0歳魚の漁獲係数Fは、2021年の0歳魚の資源尾数、漁獲尾数、自然死亡係数から求めた

資源の動向①



- 2021年の資源量：10,218トン（2020年：9,908トン）
- 2021年の漁獲割合：26%（2020年：29%）

資源の動向②



- 親魚量：1999年以降、増加傾向（2021年は6,271トン）
- 再生産成功率：0.14～0.94尾/kgで変動し、2021年は1987～2020年の中央値（0.39尾/kg）を仮定

資源評価のまとめ

- チューニングVPAにより資源量を推定した
- 2021年の0歳魚資源尾数は、2021年の親魚量に1987～2020年の再生産成功率を乗じて求めた
- 2021年の資源量は10,218トン（2020年：9,908トン）
- 2021年の漁獲割合は26%（2020年：29%）